

1 学校教育目標

健康で、豊かな心と自ら学ぶ意欲をもった児童の育成

■めざす児童像■

- ・礼儀正しく思いやりのある児童 「豊かな心を育む」
- ・健康でたくましい児童 「健やかな体を育む」
- ・しんげんに学習する児童 「確かな学力を育む」

■めざす教師像■

- ・児童に愛情をもち、健康で豊かな人間性をもつ教職員
- ・教育に情熱と誇りをもち、児童理解に努める教職員
- ・常に研修に励み、創意と工夫に努める教職員
- ・チーム力を高め、連携と協働を大切にする教職員
- ・地域や保護者と連携し、信頼される教職員

■めざす学校像■

- ・児童が楽しく、生き生きと活動する学校
- ・一人一人の個性を大切にし、友だちと学び合える学校
- ・学習環境がよく整備され、安全で清潔な学校
- ・家庭や地域と連携し、信頼される学校

2 経営の重点

(1) だれもが尊重される潤いのある学校経営に努める

- ①すべての児童が主人公となり、すべての児童が輝く学校づくりを推進する。(児童)
- ②健康で働きやすい職場環境と職員一人一人が能力を発揮できる学校経営に努める。(職員)
- ③美しい学校環境の整備に努める。(施設)

(2) ふるさと旭に誇りをもち、社会に視野を広める子どもの育成を目指す。

- ①学校、学区、地域の歴史や資源を活用した学びを推進する。
- ②小中の連携を図り、小中一貫した教育を推進する。
- ③グローバル人材の要素である「コミュニケーション能力」「主体性・積極性」「チャレンジ精神」等を、全ての教育活動を通して育成する。

(3) 確かな学力と学び続ける姿勢を育む

- ①学習指導方法の工夫・改善に努め、個に応じた指導の充実により、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。
- ②「主体的、対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくりに努める。
- ③外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。
- ④学校図書館司書や保護者との連携を強め、読書活動を一層充実させ、自ら進んで読書に親しむ意欲と態度を育成する。
- ⑤キャリア発達を促す取組を推進する。

(4) 一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育を進める。

- ①特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を組織し、総合的な支援体制を確立する。
- ②職員研修(要請訪問等)を通して職員の共通理解を図り、指導力の向上に努める。
- ③「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」を活用した効果的な支援を進める。
- ④インクルーシブ教育の推進に向け、特別に支援の必要な児童に対して、適切な変更・調整(合理的配慮)が提供できる体制づくりに努める。

- ⑤障害をもつ児童と障害をもたない児童双方の教育的ニーズに対応した交流及び共同学習を積極的に推進する。
- ⑥教育相談体制の充実を図り、保護者からの相談等に真摯に対応する。

(5) 豊かな人間性と思いやりの心を育む

- ①豊かな人間性や社会性、コミュニケーション能力等を高めるために道德教育を一層推進する。
- ②自他の人権を認め合い、人間としての尊厳を尊重するとともに、自然や命を大切にす道徳的実践力を育てる。
- ③生徒指導主任を中心とした組織体制を機能させ、生徒指導上の諸課題に対応する。
- ④「学習の規律」「生活のめやす」を周知し、基本的生活習慣の確立に努める。
- ⑤いじめの防止、解消に努める。

(6) 健やかな体と様々な危険に適切に対処できる知識や行動力を育む

- ①生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成し、体力の向上を図る。
- ②養護教諭を中心として、関係職員等と連携した組織的な保健指導の充実を図る。
- ③食に関する指導を教育計画に位置付け、計画的、継続的、組織的指導に努める。
- ④基本的生活習慣の定着を図る。
- ⑤新型コロナウイルス感染症対策の徹底及び感染症に負けない体力づくりに努める。
- ⑥心身の発達に応じた安全教育を推進し、防災意識の高揚を図る。
- ⑦教職員の防災・防犯体制の理解を深める。

(7) 地域とともに歩む学校づくりを進める。

- ①地域とともに歩み、安全で安心な学校づくりを推進する。
- ②PTA活動、家庭教育学級、読み聞かせボランティア等を通して、家庭との連携を図り、家庭の教育力の向上に努める。
- ③学校と家庭が連携し、家庭学習を充実させることにより、児童の学習習慣を確立させる。
- ④学校だより「矢指っ子」、学年だより、ホームページ、自由参観、学校要覧により学校の情報を積極的に発信する。
- ⑤授業において地域の人材活用を積極的に推進する。
- ⑥一中学区小中連携協議会で策定した小中一貫の行動目標の具現化に取り組む。
- ⑦「旭3S」の取組として、富浦小と協力して海岸清掃活動を行う。

(8) 信頼される教職員を目指す。

- ①キャリアステージに応じた指導力向上を図る体制づくりに努める。
- ②モラルアップ委員会を効果的に運営する。
- ③不祥事根絶に向けた研修を充実させる。(セルフチェック5・Dカード等の活用)
- ④メンタルヘルスチェックの実施とその活用に心がける。